

【記者からの質問】

<SAGA アリーナについて>

時事通信／SAGA アリーナの初年度の経済効果は、どのくらいを見込んでいるか。

知事／初めての試みが多すぎて分からない。どの程度、地域に経済効果が発生するのか、効果測定の方法もこれからしっかり考える。コンサートに来て、宿泊を含め福岡に人が流れるだろう。そのあたりの計数も大事だと思う。まずは、官民で未来へ投資し、様々な経済効果が県内に落ちる仕掛けをつくる。その中で実効性のある効果測定ができるよう考えていきたい。

時事通信／宿泊施設の不足、渋滞対策への体制の整備状況は？

知事／宿泊施設は、コロナの間に、県の交付金などを使って、個人客、FIT（海外個人旅行）に合うように改修が進んだ。問題は数が少ないこと。佐賀県の宿泊稼働率が、昨年11月、12月に日本一だったのは、数が少ないから効果が出るのも早かっただけ。本来の経済効果としては、機会損失している。今後、宿泊施設の増加に尽力したい。

駐車場は、これまでと同じ台数を維持しているの、イベントがない平日の対応はできる。大きなイベントを開催するときに、車で来場されると確実に渋滞する。

佐賀市の成人式では、駐車場を利用不可にして、降ろすだけのシステムでうまく機能したと聞いている。どのような利用方法が最適なのかを考えていきたい。

<新幹線西九州（長崎）ルート関連 その1>

時事通信／交通の利便性を考えると、西九州新幹線の整備が急務だが、1年近く国との協議が行われていない。今後の見通しは？

知事／コンテンツをよくすることに注力したい。新幹線は、あくまでも移動手段。いいコンテンツがあれば人は来る。

武雄温泉から長崎県が開通し、効果は得ている。これを持続できるように、またスローな旅を楽しめるよう環境を整えたい。

新鳥栖－武雄温泉間の議論は、「幅広い協議」あるいは「定期的な意見交換」を提案しているが、なかなか進まない。それならば、現状をよりよくすることに注力したい。

<有明ノリの不作について>

時事通信／20日からカキの設置が始まった。状況が改善しなかった場合の支援策を検討しているのか。

知事／カキの効果と来週始めに降る雨の相乗効果で改善してくれれば。赤潮さえ減れば、また施肥をして、栄養塩をつけていく。手を尽くしてもかなわないなら、国の特措法の適用も含め、来週、農水省に相談したい。

NHK／漁業者からは、生産の安定を求める声がある。恒常的かつ抜本的な対策についてどのように考えているのか。また、特別措置法の適用は、どのように要望するのか。知事／有明海の再生方策が大きなテーマ。今年、サルボウを大量投入した。それ以外に国と一緒に、何ができるかが課題。補償の話より、有明海再生のための支援について、国と骨太な話をしていきたい。

<新型コロナウイルス感染症関連>

読売新聞／岸田首相が、新型コロナを5類へ引き下げるようだ。知事の受け止めと今後の課題、現場の指揮官として考えられることを教えてほしい。

知事／「やっと」と思う。3年間、コロナ対応を現場でやってきた。明らかに相手の姿が変わってきている。最初の1年間の緊迫感は、まさに危機管理、強い感染症対策だった。2類、5類の議論は、ゆったりとしている。平時の対応に近いように感じる。

現在のコロナ対策は、亡くなるリスクの高い高齢者の対策をしっかりとすること。高齢者施設での集団感染を防ぐ。一般的な対応は、通常に戻すことが基本でいい。

マスクが外せるようになり、濃厚接触者への様々な制限をなくす。その上で、重点的な対策を高齢者にシフトするなど、日本全体で新しい環境になるよう、国は尽力してほしい。

読売新聞／報道では、4月からではないかと出ている。そのスピード感をどう捉えているか。

知事／遅い。緩和するなら、すぐに緩和するべき。再び、強毒化した変異株が出てきた

なら厳しい体制に戻すという共通認識を持って、即時に場面展開をしないといけない。危機管理をたらたらやっている、いざという時締まった対応ができない。国には、メリハリのある対応をお願いしたい。

<新幹線西九州(長崎)ルート関連 その2>

西日本新聞／鉄道・運輸機構が、フリーゲージトレインの走行試験設備の撤去を進めているという報道がある。受け止めを。

知事／その件に関し、連絡はない。連絡がないこと自体が遺憾だ。新八代の施設は、フリーゲージトレインの開発施設。

フリーゲージトレインは、高速で在来線区間を通ると、摩耗試験で問題があった。しかし、低速ならば、近鉄が検討を進めているように在来線区間で運用できる。そうすれば、乗換えが不要になるので、私たちは「幅広い協議」の選択肢の1つとして持っている。

「幅広い協議」をしている当事者の国が説明をすべき。説明責任を果たし、真摯に対話を重ねることが大事だ。何の説明もせずに1つの道を閉ざすのは良くない。

<県立大学について その1>

西日本新聞／多くの自治体から誘致の名乗りが上がっている。この状況への受け止めと、その背景をどうお考えか。

知事／佐賀県では、1年間に3,400人が大学に進学し、うち84%が県外に出ている。これは、大きな機会逸失だ。早急に、高等教育機関を県内につくりたい。選挙では、多くの皆さんからご賛同いただいた。市町からの期待も高い。

2月議会で骨子を示し、そこから議論を煮詰めたい。ただ、期待感が高まっているので、県全体で大学を受け入れられるような仕掛けも含め、骨子で示したい。

<新幹線西九州(長崎)ルート関連 その3>

共同通信／県は、新幹線開業2か月後にチームDを立ち上げ、地元の市町との協議を始めた。取り掛かりが遅かったという声を聞く。どうお考えか。

知事／立ち上げに関しては、遅かったかもしれない。しっかりと形にして、チームとし

て取り組みたかった。当初は、JRが参加するかどうかという議論があった。しかし、それとは無関係に議論する場をつくり、対策を成熟させる場をつくるという意味で、もっと早くやればよかったとも思う。今後、JRにも参加してもらい、前に進めたい。

例えば、「かささぎ」は平成28年の6者合意で、特急が10本になる予定だったが、3年間14本で交渉した。3年後、10本に減った。今度は、10本を維持できるように、乗車率が下がらないように「かささぎ」を使った観光コースや商品をつくる。将来のため、チームDで取り組みたい。

共同通信／市長会でも乗車率維持の話があった。乗車率を上げる取組みを、来年度以降どう進めていくのか。

知事／HAMA BARや肥前鹿島駅周辺整備など、やれることはやっていきたい。ぜひ、皆さんからも長崎本線の乗車率を上げるためのご意見をお寄せいただきたい。

朝日新聞／国が、新幹線の有明海沿いのルートについて、費用と軟弱地盤のため安全性の点で難しいと議論していると聞く。知事の受け止めを。

知事／日本の高度な技術力をもってしても、安全性に問題や課題があるのだろうか。聞いてみたい。

この状況を招いたのは、国がフリーゲージでできると言いながら実現できずに、計画を頓挫させたから。今回の費用に対する見解は、いかがなものかと思う。

乗換え方式を成功させたいと思っているが、打開するための議論の場がない。

朝日新聞／2年近く会議が開かれていない状況について、どうお考えか。

知事／私は協議したい。国や鉄道局は、北海道や北陸の問題など多々抱えているようだが、様々な議論をすれば、その中から知恵も出てくるのではないか。国や県を良くしようという志を持っている同志なので、一緒に話し合って考えていくものだと思ふ。

< 県立大学について その2 >

朝日新聞／高専についての考えを。

知事／福岡県には高専が3校ある。全国で高専がないのは5県だけ。萩生田大臣の話で

は、国が単独で高専をつくるのは、これからは難しいそうだ。大学から派生した高専、既存のものを利用する高専なら可能性がある。むしろ歓迎したいとのこと。

既存の大学と協議し、並行しながらやる価値はある。高専、高等教育機関は、県立大学だけではない。選択肢がある中で、選ぶ必要はない。同時に連携しながらやっていく。それほど、高等教育機関の伸びしろがある。

<SAGA アリーナについて その2>

朝日新聞/B'zのコンサートは、県が誘致したのか。

知事/最初のコンサートは、名誉なことでもあり、環境的にはリスクもある。県と運営会社 SAGA サンシャインフォレストは、関係団体、事務所やプロモーターに問い合わせた結果、B'zは数日前から現地入りしチェックも一緒にと言ってもらえた。SAGA アリーナの最初はB'zだったと語り継がれるようにしたい。

<佐賀空港の自衛隊使用要請関連>

朝日新聞/26日に佐賀市でオスプレイの説明会がある。知事も出席するのか。

知事/その予定はない。今回は、防衛省と佐賀市の取組み。県は、防衛省と共催し3回説明会を開催した。

朝日新聞/空港を運営している立場から、質問があれば回答する必要がある。それには、知事が望ましいと思う。

知事/場面に応じて、私の役割があるのだと思う。これまでの3回の論点整理と課題は整理している。今回は、佐賀市が自ら地元の川副で説明会をすると聞いている。